

2021年度 事業計画

一般社団法人 日本金地金流通協会

2021年度事業計画

<基本方針>

政府が発表した2021年度経済見通しによると、2020年度の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、新型コロナウイルス感染症緊急対策や数次の補正予算の効果も相まって、持ち直しの動きがみられる。他方、経済の水準はコロナ前を下回った状態にとどまり、経済の回復は道半ばであった。

こうした中、政府は、「総合経済対策」の策定及び着実な執行、各種支援策を実施し、この結果、2020年度の実質国内総生産（実質GDP）は、▲5.2%程度のマイナス成長が見込まれることとなった。

2021年度は、「総合経済対策」を円滑かつ着実に実施により、公的支出による経済の下支えと民間需要の喚起、民需の自律的な回復も相まって、実質GDP成長率は4.0%程度と見込まれ、年度中には、経済がコロナ前の水準を回復することが見込まれている。

こうした経済状況の中、資産保全としての「金」に対する期待は、極めて大きなものとなっている。

経済産業省は、「FATF（金融活動作業部会）」が公表した「対日審査における審査結果報告書」を踏まえ、2021年度に「貴金属・宝石等取扱業に関するマネロンに対するガイドライン」を策定することとしており、当協会では、同省と連携し、同ガイドライン策定委員会への参加、ガイドライン策定後の周知活動等について、協力していくこととしている。

以上のような状況を踏まえ、当協会としては、2021年度において金地金等の健全な取引の推進のため、引き続き積極的な事業展開を図っていくこととし、次のとおり各事業を実施する。

また、前年度から延期された「協会設立40周年記念セミナーの開催」については、中止することとし、新型コロナウイルスの感染状況が収束した場合には、隔年で実施している講演会を開催することとする。

<事業計画>

1. 協会事業の広報の強化

協会事業について広く一般消費者に周知させることにより、当業界に対する理解を深め、金地金等の貴金属取引に対する正しい知識の普及に努めるとともに、公正な取引の推進に寄与するため、協会事業についての広報の充実及び強化を図る。

また、一般消費者に対し、資産保全対策の一手段としての金地金等の有効性を積極的に訴えていくこととする。

2. 機関誌等の発行

会員及び一般消費者に対して、協会の活動及び貴金属取引等に関する各種の情報を提供するため、次の機関誌等を発行する。

なお、既存のパンフレット、リーフレット等については、必要に応じ内容の改善、見直しに努める。

(1) 機関誌「GOLD & PLATINUM」

(2) 「貴金属地金情報」

(3) 金・プラチナに関する広報用パンフレット、リーフレット等

3. 新聞等による広報

新聞、雑誌等に広告を掲載し、一般消費者に対して協会及び会員の紹介並びに公正な貴金属取引についての情報を提供する。

4. インターネット・ホームページによる広報の充実化

一般消費者の貴金属取引に対する関心を喚起し、知識の向上を図るとともに、一般消費者に対して会員情報を提供する有力な手段として、インターネット・ホームページによる広報の充実化に努める。機関誌「GOLD&PLATINUM」最新号については、本年度もバックナンバーとして掲載する。また会員にとって有益な情報についても引続き掲載することとする。

5. 調査活動の実施

金地金等貴金属類の流通に関する基礎的資料の収集、整理等を行政庁等と連携して実施し、情報の充実化に努める。

6. 流通協会会員実務者研修の開催

金の正しい知識の普及に努めるため、会員の従業員等を対象とした研修を行う。

7. 講演会の開催

前年度から延期された協会設立40周年を記念セミナー及び会員懇親会については、中止することとし、新型コロナウイルスの感染状況が収束した場合には、隔年で実施している講演会を開催することとする。

8. 関連業界の行事に対する協賛等

関連業界の主催する各種コンクール、各種フェア等に対して協賛又は後援を行う。